

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|---|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 134032105 | 特別活動の指導法 Extra-curricular Activities | 小野憲一 | | 教職 | 2 | 選択 | 3後期 |

科目の概要

本学の教育目標であるDPの③にあたる「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢」を育みつつ、学校教育全体における「特別活動」の意義を理解し、学習指導要領等を手がかりとして目標や内容、指導法を理解し、学級経営における指導の現状・課題等について具体例の分析とそれに基づくグループ討議、全体討議等のアクティブ・ラーニングを通して理解する。また、学校としての特別活動の全体計画や学年毎の年間指導計画、評価の視点と方法について、事例を提示してその理解を深める。さらに、3領域の一つである「学級活動」については、受講生の経験も素材にしながらか教育実践レベルでの具体的な事例の分析とそれに基づくグループ討議、全体討議等のアクティブ・ラーニングを通して体験的に学ぶ。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|---|
| ① 学習指導要領における「特別活動」の意義、目標および内容について理解する。 ② 学校の教育課程全体で取り組む「特別活動」指導の在り方について理解する。 ③ 教育課程における「特別活動」の役割や各教科等との関連の在り方について理解する。 | ① 学習指導要領における「特別活動」の意義、目標および内容を理解することができる。 ② 学校における各活動や学校行事の目標や内容、特質、取組の評価・改善の重要性について理解することができる。 ③ 教育課程における「特別活動」の役割や各教科等との関連のあり方について理解することができる。 |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 本授業を積極的に取り組む態度を醸成し、テキストを自学自習し、分からない用語や文言等を前もって調べておくことができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 主体性を具体的に進めていくために、調べた事柄をさらに深化させインターネットや公共図書館・大学図書館に赴き、新たな知見を得ることができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 授業で学修した内容を、これまで学修した内容を踏まえ、自分自身の問題意識として考えることができる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 授業で学修した内容を、自分自身の問題として捉え直し、自分自身の課題を新たに立てて、その解決策を探ることができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 新たな課題発見を駆使することで生産された問題意識を、グループ討論や全体発表において表現できる。 |
| | 傾聴力 | グループ討論や全体発表において、他者の考えや意見を柔軟に聴き入れ、それに至った経緯の背景も視野に入れながら、関心を持つことができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 情況把握力 | |
| | 規律性 | グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を交え、他者の考えや意見の内容を否定することなく受容できる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：『特別活動の理論と実際』河村茂雄 編著 図書文化社 2018年
 参考文献：『特別活動指導法 改訂2版 平成29・30年告示 学習指導要領準拠』渡辺邦雄・緑川哲夫・桑原憲一 日本文教出版
 文部科学省『小学校指導要領解説 特別活動篇』
 文部科学省『中学校指導要領解説 特別活動篇』

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：「道徳教育の理論と実践」「進路指導論(キャリア教育を含む)」等と並んで、「教育原理」から「教育課程論」とつなぐ教職科目に関する基盤となる。
 資格との関連：中学校・高等学校家庭科教諭一種免許状。

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 配付資料をもとに授業内容を進めていく、また、グループ討論や全体発表等により考えを深める。 授業内容のポイントや疑問点等についてメモしておくこと。 授業内容における課題レポートなどは、考察を加えながら自分自身の言葉でまとめ、自分が教員の場合の様に考えるかを想定して考えをまとめると良い。 | <ul style="list-style-type: none"> 受講時の基本姿勢(マナー)として、受講時は、私語を慎み、内職等は行わないこと。携帯電話を机に出すことは、授業で活用する時以外は禁止とする。 遅刻・欠席・早退の扱いは、20分を超える遅刻は欠席とする。なお、特別の理由がある場合はこの限りでない。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | | | | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|--|--|---|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | | | | | |
| | | | | ② | | | | | | | | |
| | | | | ③ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | | | | | | |
| | | | | | ② | | | | | | | |
| | | | | | ③ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | レポート | | 70 | ① | ✓ | | | | | | 授業時に実施する小レポートの課題提出における内容、さらに、最終レポートによる記述内容を総合的に評価する。 |
| | | | | | ② | ✓ | | | | | | |
| ③ | | | | | ✓ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 20 | ① | ✓ | | | | | | グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を持ちつつ、中心的な役割を果たしている学生を特に高く評価をする。 | |
| | | | | ② | ✓ | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | | | | | （主体的）必要な知識について、テキストや配布資料の文献を参考にしながら自己学習ができる。 （実行力）問題解決のために、解決方法・手順を考え、確実に課題をやり遂げることができる。 （創造力）多角的観点から物事を観察することができる。 （傾聴力）グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を持ち、述べるることができる。 （規律性）個人・集団の場面において、自分自身を律しルールを厳守することができる。 | | |
| | | | | ② | ✓ | | | | | | | |
| | | | | ③ | ✓ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>Sの基準は、小レポートと最終レポートを提出し、その課題内容が自分自身の考えや意見をしっかり述べている。さらにグループ討論や全体発表において、中心的な役割を果たすことが求められる。</p> <p>Aの基準は、Sに準じる達成度を求める。</p> | <p>Bの基準は、小レポートと最終レポートを提出し、授業で学修した知識が活用され、一定以上の分量があることを問う、さらに、グループ討論や全体発表において、自分自身の役割を果たすことを求める。</p> <p>Cの基準は、小レポートと最終レポートが期限までに提出されている、さらに、課題設問に対して意味が通る内容になっている。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|--|---|--|-------|----------------------------|
| 1 | ・オリエンテーション・ガイダンス：受講の留意点と授業の進め方と概要について確認する。 ・教育課程における特別活動の位置づけ。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 生徒・進路指導で学んだ学修内容の復習をやる。またテキストを熟読しておく。 (復習) シラバスを確認し、今後の学習の計画を考えること。振り返りのワークシートに取り組む。関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 規律性 |
| 2 | ・特別活動の教育的意義について考察する。人間関係形成と社会参画に基づく自己実現について考察する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 特別活動における教育的意義について整理すること。 (復習) 学習指導要領解説を熟読し、内容についての理解を深め、ワークシートに取り組みさらに理解を深める。 | 180 | 主体性 実行力 傾聴力 規律性 |
| 3 | ・特別活動の教育的特性について考察する。日本の学校教育と学級経営について整理し、まとめる。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 教育課程における特別活動の役割について理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 特別活動における教育的特性について整理すること。 (復習) 学習指導要領解説を熟読し、内容についての理解を深め、さらにワークシートに取り組み理解を深める。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 4 | ・特別活動の目標を考察する。学習指導要領解説特別活動編をてがかりに、目標と内容について整理し、まとめる。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 特別活動の目標を理解し、内容が把握できているか。 | (予習) 学習指導要領を熟読し、特別活動の目標と内容について整理すること。 (復習) 特別活動の目標と内容についての理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 5 | ・特別活動の主な内容を考察する。学習指導要領の内容について、小学校を基に、中学校・高等学校の違いについて整理する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 特別活動の主な内容はどうのようなものを理解し把握できる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動の主な内容について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 6 | ・特別活動で教師に求められる力量を考察する。特別活動を指導するにあたっての指導の在り方と実際について検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 特別活動を指導する教員として、どのようなことに留意し指導を行えばよいか理解し把握できる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動における教師の力量について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 7 | ・学級活動・ホームルーム活動の特質について考察する。学級活動・ホームルーム活動の特質について知り、指導の留意点を検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 学級活動・ホームルーム活動の特質について知り、指導の留意点を検討し理解することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学級活動・ホームルーム活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 |
| 8 | ・特別活動の全体計画と指導計画について考察する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動の全体計画と指導計画について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 創造力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|--|---|---|-------|--------------------------|
| 9 | ・合意形成に向けた話し合い活動および意思決定につながる指導の在り方について考察する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学級における課題の解決の方法について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 10 | ・集団活動のモデルと指導の在り方(1)について考察する。 集団活動の特質と望ましい集団活動の展開について考察する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 集団活動の特質と望ましい集団活動の展開について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 11 | ・・集団活動のモデルと指導の在り方(2)について考察する。 集団活動のモデルとなるグループ・アプローチの方法について検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 集団活動のモデルとなるグループ・アプローチの方法について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 12 | ・児童会・生徒会活動の特質について考察する。 児童会・生徒会活動の特質について知り、指導の留意点を検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 児童会・生徒会活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 13 | ・クラブ活動・部活動の特質について考察する。 クラブ活動・部活動の関連を検討しながら、指導上の留意点について検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) クラブ活動・部活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 14 | ・学校行事の特質と特別活動の評価の在り方について考察する。 学校行事の目標と学習過程を整理する。また、特別活動における評価の意義と方法について整理し、留意点について検討する。 | ・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。 | 講義で学修した内容の要点が理解でき、自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。 | (予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学校行事の特質・特別活動の評価について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 15 | ・「特別活動」の現状と今後の課題について考察する。 これまでの学習内容を振り返り、文部科学省が推奨する動画視聴し、その内容を把握し、課題を作成する。 | ・オンデマンド ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示をする。 | 講義で学修した内容、指定された視聴覚動画の内容理解し、自分の考えや意見を織り交ぜた課題内容の作成がなされているか。 | (予習) 指定された視聴覚動画の視聴をし、その内容を理解し把握し期限内に提出しておく。 (復習) 指定された視聴覚動画の内容を整理し、課題提出に向けての準備に取り組む。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力